

# 令和5年度 港川こども園 職員自己評価シート（保育教諭等）

行動指針に対する状況を記入します。（1（あてはまらない）⇔ 3 ⇔5（とてもよくあてはまる） ※評価の平均値は（少数点第2以下四捨五入）  
 ※評価の計、合計の値は、全ての保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
<b>1 教育・保育目標に基づく学級経営の充実</b>		<b>評価点の計（最大値35）</b>
		<b>27.2</b>
1	園の教育・保育目標及び教育課程に基づいた学級経営を実践し、定期的に評価・改善している。	3.5
2	学級目標を具現化し、意図的かつ計画的な学級経営と保育実践を行っている。	3.5
3	一人ひとりの幼児を大切に、幼児同士も互いの良さを認め合える学級となっている。	4.3
4	幼児の主体的・自発的な活動ができるよう適切な援助を心がけ、環境構成を工夫している。	4.0
5	学級のことについて、他の職員とも積極的に情報交換を行っている。	3.4
6	室内外の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。	3.7
7	保護者の理解を得ながら、特別な支援を要する幼児の個別の指導計画、個別の教育支援計画を立案をし、実践する。	4.3
<b>2 教育・保育の質の向上</b>		<b>評価点の計（最大値50）</b>
		<b>31.3</b>
1	園内カンファレンス等を通して、多面的な幼児理解をしている。	3.8
2	相互に保育参観を行い、教育・保育を高め合っている。	3.6
3	週日案の中で日々の保育や記録を振り返り、評価・改善をしている。	3.7
4	研修会や研究会には自己課題を持って参加したり、専門書を読んだりしながら自己研鑽に励んでいる。	3.0
5	幼児の自発的な活動を促す環境構成となっているか振り返り、改善を行っている。	3.1
6	保幼小の連携の中でそれぞれの保育・教育内容について理解し、円滑な接続に取り組んでいる。	2.8
7	小学校と連携して接続期のカリキュラムを活用した実践を行い、公私連携型こども園としての役割を意識しながら保育所・私立幼稚園・私立こども園と連携し、教育・保育課程をつなげている。	3.6
8	必要に応じて個別の支援計画・指導計画を作成し、障がいの状態に応じた指導の工夫をしている。	3.6
9	職員同士で共通理解を図り、連続性のある教育・保育を行っている。	3.8
10	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深め、それに基づいた保育を実践している。	3.6
<b>3 子育ての支援の充実</b>		<b>評価点の計（最大値35）</b>
		<b>25.0</b>
1	家庭との連携を密に行い、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握できるようにしている。	3.7
2	クラスだより等で、教育・保育の内容やねらい、子どもの様子等をわかりやすく伝え、子育てや幼児理解に必要な情報を発信している。	3.1
3	学級懇談会や保育参観等において、保護者同士のつながりがもてるような場を提供している。	3.8
4	日々の情報交換や個人面談等で子育てについて保護者の悩みを聞き解決に向けて丁寧に対応している。	4.1
5	事故や問題が起きた場合に保護者への説明や対応が迅速かつ的確である。	3.6
6	不適切な養育や虐待を受けている疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防について、保護者向けに子育ての情報提供及び関係機関との連携を図っている。	3.4
7	家庭と連携しながら食べて・動いて・よく寝ようを推進し、基本的な生活習慣の形成を目指した援助を行っている。※生活習慣アンケートの活用	3.5
<b>【取組状況に関するコメント】</b>		<b>評価点の合計（最大値120）</b>
		<b>84.2</b>
<b>【保育教諭の意見等】</b>		
コメント等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が安心して園生活が送れる事ができるように、職員同士連携を取って保育を行っていきたい。</li> <li>今年は初めて支援が必要な子ども達を見たので、分からなくて困ってしまう場面がたくさんありました。分からないことは、周りの職員に聞き、子ども達と真剣に関わっていけるよう勉強していきたい。</li> <li>学級担任ではない為、学級経営のアンケート自己評価が難しかったです。日頃、あまり意識せずに過ごしていた項目もいくつかあり反省が多かったです。保育の質の向上に向けて職員同士の情報交換や言葉かけなど私自身の課題を知ることができよかったです。</li> <li>今行っている生活リズムカードの取り組みをすることで、子ども達も頑張ろうとする姿が見られるので今後も続けて欲しい。</li> <li>今年度は転職して一年目という事もあり園の流れになれることや園のことを知ることには必死だったため十分にはできない部分が多かった。次年度はもっと子ども達一人ひとりがさらに安心して園に登園できるような環境づくりを行っていききたい。</li> <li>職員同士でもっと園とよりよいものにしていけるような話し合いをしていけたら良いと思う。</li> <li>臨機応変に対応できない職員がいるためクラスが困っています。</li> <li>職員会議は、全職員がそろそろ土曜日に設け、みんなで共通理解し、意見を伝え合うことができるともっと効率よく意味のある会議ができると思う。</li> <li>学年の繋がりは意識していたが、他学年とは足りなかったので、連続性のある教育・保育にするためにもう少し連携を取るようになる。</li> <li>子どもへの対応について共通理解を図っても、実行してくれないことがあり、そちらの対応に困ることがある。</li> <li>子ども一人ひとりの様子を職員で共有し、関わり等を他クラスの子ども達も把握することができていると思う。又、保護者の方にも目を向け、家庭の様子まで気にかけているので良いと思う。</li> </ul>		
<b>【自己評価シート（保育教諭等）の分析及び課題】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>園児一人一人を尊重し、共に育ち合う学級運営ができています。（教育・保育目標に基づく学級経営の充実 問3）</li> <li>特別な支援を要する幼児への個別指導の在り方や計画、実践への取り組みwo保護者と連携して行う事ができた。（教育・保育目標に基づく学級経営の充実 問7）</li> <li>保幼小連携の取り組みでは小学校就学に向けて近隣保育施設と共通理解を図ることができている。（教育・保育の質の向上 問7）</li> <li>家庭との情報交換を細やかにし、安心して子育てができるように努めている。（子育て支援の充実 問4）</li> <li><u>保幼小連携はスムーズに回れたが、職員に分かりやすく伝えることが十分でなかった。（教育・保育の質の向上 問6）</u></li> <li><u>職員全体での研修や職員会議などを通して職員一人一人の意見を聞く機会が少なかった。（教育・保育の質の向上 問7）</u></li> <li>家庭や地域へ園の取り組みについて情報発信を行っているが、子育てや幼児理解などの情報も取り入れ発信していくことが求められている。（子育て支援の充実 問2）</li> </ul>		